

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	092 国際戦略総合特区推進事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	イノベーション推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	総合特別区域計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市内の研究機関、企業等
目的	特区プロジェクト等の推進や新たなプロジェクトを創出、推進するため
概要 (取組内容)	組織の垣根を超えた新しい産学官連携の核となる組織（一社）つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）と連携し、特区プロジェクト等を創出・推進することにより、新事業・新産業の創出に取り組む。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	9,697	9,603	10,285	9,265	9,265	
	決算額	(千円)	8,582	8,973	9,307	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,582	8,973	9,307	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,325	7,054	2,166	2,166	2,166	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	213.67	90.25	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	486.0	641.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	616.0	685.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数（累計）※H29年度～R2年度第2期計画の指標、※H28年度までは新たなプロジェクト創出数					

2	指標名	連携企業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	180.0	360.0	540.0	720.0
	実績	0.0	0.0	194.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進による産業化促進のための連携企業数(累計) ※R3年度～R7年度第3期計画指標、第2期の指標を継続設定) ★6月判明					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特区ホームページのリニューアルを実施し、情報発信を行った。	
成果	TGIを中核組織として、技術相談のワンストップ窓口支援や、「つくばライフサイエンス協議会」等のプロジェクトごとの運営会議を定期的に開催し、研究実施機関や企業のマッチング機会を創出した。	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・特区制度及びプロジェクトは専門性が高いため、市民が理解しやすいような情報発信。 ・プロジェクトを主導している大学、研究機関、民間企業からの、タイムリーな進捗状況の把握
	組織、予算等	予算の確保
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民が身近に感じられるよう、周知方法を工夫しながら、情報発信を行う。 ・特区プロジェクトの進捗管理について、茨城県、TGIと連携して定期的に把握する。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	094 市内大学・研究機関等との連携事業					
予算科目	01-020108-17 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	科学の街推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体					
目的	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）で掲げた基本理念の実現に向け、研究機関等との連携を戦略的に進めることにより、専門的知見を活用した行政体制の構築、防災体制の強化等に資する。					
概要 (取組内容)	市内各大学・研究機関のそれぞれの特徴をいかしながら、基本協定の締結や連携事業を推進する。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,583	5,965	668	1,754	1,754	
	決算額	(千円)	836	5,937	911	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	836	3,642	911	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	2,295	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,620	7,358	7,177	7,177	7,177	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	333.55	215.33	150.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	新規協定締結数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	3.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	連携事業数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0
	実績	31.0	28.0	34.0	25.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばの科学技術の魅力をやさしく、わかりやすく発信するため、チラシ・ポスター等の設置、市SNS・アプリ等を活用し、市民目線の積極的な情報発信に努めた
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育局が独立行政法人教職員支援機構と連携協定を締結するのを支援し、令和4年10月26日付けで締結に至った。 ・JAXAとの連携により、筑波宇宙センター50周年記念事業として広報協力のほか、小学生向けの絵はがき募集イベントを企画・開催した。
課題	<p>業務</p> <p>協定締結機関を中心として、市内の科学技術に関する最新情報だけでなく、市民の目線に合わせ、より身近な情報（衣食住や医療、活躍する研究者等）の発信が必要である。</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	各機関の広報窓口機関への訪問等を通じてコミュニケーションをとることで、各種相談や情報が寄せられる信頼関係の深化を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	096 国際科学技術都市「つくば」の推進事業					
予算科目	01-020108-17 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	科学の街推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学する者					
目的	女性研究者育成や海外都市との連携を通じて、社会的課題の解決や産業の国際競争力の強化及び筑波研究学園都市の創造性や多様性といった都市の魅力を発信する。					
概要 (取組内容)	G7のレガシー継承事業として、科学技術分野への女性の参画拡大や女性人材育成のための事業を実施。ハイレベルフォーラム等の国際会議への参加などを通じてつくばの国際的な認知度向上を図るとともに、国外の都市や研究者との連携・交流を深める。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,160	4,520	5,418	0	0	
	決算額	(千円)	1,270	2,414	1,227	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,270	2,414	1,227	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,453	7,227	3,528	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	265.55	161.50	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	女子中高生を対象とした理工系シンポジウム参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 市が取りまとめを行っていたハイレベルフォーラムのつくば地域代表機関を、つくば発のイノベーション創出ハブ機関であるつくばイノベーション推進機構に移管し、実施体制の強化を図った。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> フィンランド・タンペレ市で開催されたハイレベルフォーラムに市長が参加し、市のスマートシティの取組を発表するとともに、海外の優良事例に関する情報収集を実施した。 「つくばで輝く研究者」として研究者5人のロールモデルを地域フリーペーパーで発信した。 	
課題	業務	
	組織、予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	1	事務事業の廃止を検討する必要がある。

方向性

方向性	廃止
理由	令和4年6月15日付け「つくば市行政組織規則」の一部改正により、当課の所掌事務から「ハイレベルフォーラム等国際的科学技术会議の推進に関すること。」を削除したことに伴い、令和5年度から本事務事業については廃止する

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	097 ロボットの街つくば推進事業					
予算科目	01-020108-18	ロボットの街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課
市長公約					係名	次世代モビリティ推進係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）				事業期間	毎年度
根拠法令等	「ロボットの街つくば」の実現に向けて（提言）、新たなつくばのランドデザイン				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	ロボットの実用化や人材育成、先進技術・データを活用したまちづくりを行い、超高齢化社会及び低炭素社会への対応、観光等の地域活性化に貢献する。
概要 (取組内容)	搭乗型移動支援ロボットに関する実証実験やつくばチャレンジ、Global Innovation Challenge等のロボット実験を通じて、国に規制緩和を要望していくなど、ロボットの実利用環境の構築及び社会実装を推進する。 国のMaaS(Mobility as a Service)の取組との連携や他自治体、大学、民間事業者等との新たな連携など、次世代モビリティの社会実装に係る取組を推進する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	6,954	5,594	7,528	5,099	5,099	
	決算額	(千円)	5,139	4,805	6,446	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	4,805	6,446	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,139	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,657	7,054	7,275	7,275	7,275	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	186.00	90.25	190.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報誌、区会回覧、ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	イベント見学、小中学生のつくばチャレンジ運営体験イベントの実施
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	ロボットのまち中実証実験数（種類）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	10.0	3.0	2.0	3.0	0.0	0.0
指標の概要	ロボットのまち中実証実験数（種類）※H26年度までの指標は、実験回数、実験走行距離（目標値：150回、5,000km / 実績値：153回、3,653km）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばモビリティロボット実証実験推進協議会の総会において、本年度で協議会の解散を決定した。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> つくばチャレンジについて、現地開催（実験走行9日間、本走行1日間）を実施した。 つくばチャレンジで運営体験会を開催し、小中学生に自走ロボットと触れ合う機会を設けた。 Global Innovation Challenge2023に向けてリハーサルを実施した。 	
課題	業務	つくばチャレンジとGlobal Innovation Challengeの認知度アップ
	組織、予算等	セグウェイ保守サービスが2024.10に終了することに伴う、保有するセグウェイの管理方法
改善目標	つくばチャレンジ運営体験会に参加する小中学生を今年度（58人）より増加し、100人とすること。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	095 次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業（科学教育推進事業）					
予算科目	01-020108-17 科学の街つくば推進に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約	31-1			係名	科学の街推進係	
戦略プラン	Ⅲ-2	1	3	科学教育の推進と批判的思考の育成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	児童・生徒、市内大学・研究機関・企業・研究交流事業や科学技術啓発事業等を行う団体
目的	次代を担う人材や一般市民に対して、研究学園都市に集積する最先端の科学技術を素材に、研究者とともに体験的に学習できる機会を提供することで、科学技術の理解の醸成を図る。
概要 (取組内容)	つくば科学教育マイスター制度や体験型科学教育事業等を通じて科学教育を推進する。 つくばサイエンス・アカデミーと連携し、飛躍的な研究成果が期待できる若手研究者につくば奨励賞を授与する。 科学の甲子園全国大会等の科学イベントを市内で開催する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	12,559	10,589	7,806	13,232	14,358	
	決算額	(千円)	10,310	9,094	6,691	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,162	5,571	6,691	-4,620	-5,183
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,148	3,523	0	4,620	5,183
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,633	6,958	7,006	10,533	10,533	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	339.15	51.00	80.00	130.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	協力研究者へのアンケート

指標の推移

指標名	体験型科学教育事業の延べ参加者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
実績	495.0	57.0	246.0	346.0	0.0	0.0
指標の概要	つくば市SDGs 未来都市計画：Ⅲ 未来をつくる人が育つまち 指標：つくばSTEAM コンパス事業の延べ参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	体験型科学教育プログラムについて、学校規模に応じた授業運営マニュアルの作成を実施した。また、外部からの資金獲得策として、内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金（事業期間：令和5年度から7年度までの3年間）への申請を行った。
成果	「つくばちびっ子博士2022」と連携し、市内研究機関等の動画を配信することで、科学技術に興味関心を持つ多くの子供たちに、科学技術を身近に感じる機会を提供することができた（延べ再生回数41,954回） 「つくばスタイル科」の一環で、STEAM教育授業を規模の異なる市内小・中学校3校で実施し、学校規模に応じた授業運営方法を構築し、マニュアル化した。
課題	<p>業務</p> <p>事業の趣旨に賛同いただける地域の研究者のすそ野の拡大 STEAM教育を市内学校で本格展開するにあたって必要な人材（サイエンスコミュニケーター等）の確保</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	STEAM教育授業について、市内小・中学校での実施校数を拡大する。 科学技術情報に関するコンテンツ拡充を図るなど、「科学技術のまち、つくば」の情報発信力の強化を目指す。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	市内小中学校でSTEAM教育を展開することは国の方向性とも合致した最適な取組である。また、デジタルの力を活用したSTEAM教育環境を構築する本事業は、「デジタル田園都市構想」が実現を目指す地方創生に寄与する取組である。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	009 未来共創プロジェクトの実施					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	イノベーション推進係	
戦略プラン	IV-1	1	1	未来共創プロジェクトの実施	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	官民協働による近未来技術等の社会実装の推進を図る。
概要 (取組内容)	市内において新しい未来を創るための先端技術や近未来技術等を取り入れようとする者に対し、実証実験の提案を受け付ける窓口を開設し、実証実験の支援等を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,198	2,844	5,668	5,668	5,668	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.40	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	64.10	45.13	90.00	90.00	90.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	実績	6.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-1-①新たな共創の仕組みづくり) 未来共創プロジェクト事業への申請件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	・ Zoomを活用し、相談者との面談を速やかに実施することで、市の対応方針検討に要する時間短縮に努めた。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8件の事業を採択し、実証実験を実施した。 ・ 丁寧な対応を心がけることで、円滑に提案事業の支援を行うことができた。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験の成果を本市の課題解決に繋げること。 ・ 提案受付を効率的に行うスキームを検討すること。
	組織、予算等	・ 関係（担当）部署へのつなぎ方や、採択後の担当部署への関わり方
改善目標	関係（担当）部署へのつなぎ方や、採択後の担当部署への関わり方など、運営体制の在り方を見直して進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	093 Society 5.0社会実装トライアル支援事業					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約	116			係名	イノベーション推進係	
戦略プラン	IV-1	2	1	社会実装トライアルの支援		新規・継続
						継続
						事業分類 自治事務（任意）
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業体制	職員のみ	
根拠法令等				SDGs	08働きがいも経済成長も	
					09産業と技術革新の基盤をつくろう	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	全国の企業、研究機関、教育機関等
目的	新たなビジネスモデルの開拓を加速させるとともに市民生活の向上及び地域経済の活性化さらには先進的な取組に挑戦するまちとしてのプレゼンス確立に貢献する。
概要 (取組内容)	IoTやAIなどの革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けたトライアル（実証実験）を全国から公募し、実験場の提供やモニターの確保、費用補助等の支援を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	5,823	7,610	6,456	6,746	6,746	
	決算額	(千円)	4,002	5,351	5,875	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	2,550	2,938	-2,933	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	1,801	2,937	2,933	0
	その他	(千円)	4,002	1,000	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	5,128	4,960	4,963	4,963	4,963	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	149.57	72.20	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	実証実験の関係者やモニターとしての協力
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	フィールド実験の実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	4.0	5.0	6.0	5.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 「Society 5.0 (超スマート社会)」の実現を目指すフィールド実験の実施件数 ※R1年度は採択5件のうち1件辞退						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 支援事業の成果を社会実装に繋げるため、実証実験の開始時期を2か月前倒し実施した。 今後の事業設計に活かすため、フォローアップ調査を行い、課題を抽出した。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 提案15件のうち5件の実証実験を採択及び支援した。 市SNS、区会回覧、広報誌等への掲載に加えて、審査会だけでなく報告会の一般公開を行うことで、市民への認知度拡大に努めた。 フォローアップ調査により、事業の特徴や課題が明確となった。 	
課題	業務	市民が科学技術の恩恵を感じるため、市民に対する支援事業の成果の認知度を向上すること。
	組織、予算等	交付金終了後（令和6年度以降）の予算の確保
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動に注力する。 実証実験の成果を市の課題解決に繋げるため、庁内関係部署との連携を強化する。 	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	045 市場・市民ニーズ調査事業（旧：未来技術等社会実装支援事業（仮称））					
予算科目	01-020108-16 科学技術振興に要する経費			担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課	
市長公約				係名	イノベーション推進係	
戦略プラン	IV-1	2	2	近未来技術等の社会実装の推進	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市科学技術・イノベーション振興指針（第3期）			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	09産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の概要

対象	市民、教育・研究機関、企業等
目的	実証実験後のアフターフォローとして、実用化の直前あるいは実用化初期段階の支援を通じて、地域課題の解決や未来技術の質の改善を図り、市民生活の向上や地域経済の活性化を目指すこと
概要 (取組内容)	市域で実証した未来技術について、市民や市内事業者技術やサービスをホームユーステストとして試してもらい、市場性や改善すべき点などの調査を実施する。なお、調査方法としては、開発事業者がその技術やサービスの提供を行い、そのために必要な事前の改良費用やモニター利用料などを市が負担する形で、開発事業者と市が共同で行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,000	2,000	2,000	2,000	
	決算額	(千円)	0	1,650	1,214	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	825	607	-1,000	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	825	607	1,000	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,113	2,871	2,871	2,871	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	155.58	60.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	事業に関する情報を発信
企画・立案、計画	—
実行	先端的なサービスや製品の試用
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	製品等の試用件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0
指標の概要	(IV-1-②社会実装の推進によるイノベーション創出) 本事業で支援した製品・サービスの件数						

2	指標名	(0)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	・本年度より事業開始	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 件の共同事業を実施した。 ・ 歯垢検査ライトについて、つくば歯科医師会と連携し、茨城県歯科医学会で発表する等、取り組みの周知に努めた。 ・ 多言語デジタル問診票について、つくば市医師会を紹介し、医療機関への周知の支援を行った。 	
課題	業務	申請が可能な事業者への事業の周知。 支援事業の成果を社会実装に繋げること。
	組織、予算等	交付金終了後（令和6年度以降）の予算の確保
改善目標	事務の円滑な実施。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—